

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	久万高原町家庭教育支援チーム (呼称: 久万高原 Happy サポート) URL: (URL: http://www.wikuwa.or.jp/)
②活動拠点	久万高原町 地域子育て支援センター Happy House
③活動範囲	久万高原町全域
④組織体制	17 人 地域コーディネーター 1人、子育てサポーター2人、元保健師1人、 臨床発達心理士 1人、保育士6人、児童厚生員1人、保育補助4人 久万高原町教育委員会職員1人
⑤活動開始年度	平成20年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 久万高原町教育委員会生涯学習班 (TEL) 0892-21-0139

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て家庭と地域を繋ぎ、母親の孤立を防止する。 ・ 子育て情報誌「キラリ」発行、育和会だより掲載、育和会ホームページ掲載 ○ 学習会「Happy カフェ」開催 <ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の出会いと集まりの場として、講座・グループワーク・子育てトークなどの内容で開催、子育ての楽しさを感じてもらい、参加者のコミュニケーション能力を高める。 ○ 相談活動 <ul style="list-style-type: none"> 町内小学校・幼稚園への訪問相談、育和会施設内（Happy house・NIONIKO 館 久万保育園）での保護者への相談を通して子育ての不安や悩みに寄り添う。 ○ 保健センターと連携 <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診・離乳食教室等に参加、協力して子育て支援に取り組む。 ○ 子育てサロン <ul style="list-style-type: none"> 「つどいの広場」「ふれあい広場」との交流では、親子の遊びを提供、仲間づくりを応援する。 ○ 久万高原町社会福祉協議会と連携 <ul style="list-style-type: none"> 福祉大会に参加するなど地域との交流を深めている。 ○ ミーティング <ul style="list-style-type: none"> 原則毎月1回、活動拠点の地域子育て支援センター Happy House に、家庭教育支援員等が集まり、情報共有や、より良い対応方針について相談する。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て支援の拠点が1箇所に集まっているので分かりやすく、誰でも利用しやすい利点がある。 ○ 親を継続的にサポートしてきた結果、コミュニケーション能力や仲間意識が育ってきている。 ○ 母親の自主的活動を通して、母親同士の絆や子育て家庭と地域の繋がりが芽生えてきている。 ○ 保健センターとの長く密な連携を活かし、情報交換することで、より効果的な支援ができています。 ○ 学校訪問が定着し、Happy サポートが町内学校との橋渡し役を担うこととなり、連携がしやすくなった。
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:学校・家庭・地域連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 <p>()</p>